

岡山県災害拠点病院研修会が真庭市で開催されました

平成24年10月14日(日)落合公民館にて、岡山県災害拠点病院医療救護要員研修会が行われました。本年度は当院が研修会担当病院となり、真庭地域での開催となりました。岡山県下の災害拠点病院9病院と行政機関、消防機関および真庭警察署、金田病院からの参加者の様子を、当院スタッフがお揃いの青いポロシャツでお迎えしました。

今回は、局所災害時における関係機関の連携の重要性を学ぶことを目的に、局所災害医療の基礎知識の講義から、トリアージ(多数の傷病者の別別・治療の優先順位の決定)訓練、災害現場を想定した机上シミュレーション、体育館での総合演習など、実践的な局所災害時の流れを体験しました。

研修会の一部をご紹介します。



- C Command & Control 指揮と統制
- S Safety 安全
- C Communication 情報伝達
- A Assessment 評価
- T Triage トリアージ
- T Treatment 治療
- T Transport 搬送

講師 京都第一赤十字病院 救命救急センター (副センター長) 高階 謙一郎先生

1 講義

「局所災害医療の基礎知識」

災害現場での「CSCATTT」の重要性について学びました。



2 講義と実習

「トリアージについて」

災害時には多くの傷病者が発生します。「赤・黄・緑・黒」に選別し、治療の優先順位を素早く何回も診断していきます。トリアージタグの記載の仕方や、一次トリアージSTART法の実習を行いました。



3 総合演習

「現場救護所」

体育館に模擬の救護所や指揮所を設け、災害現場のシミュレーションを行いました。あわただしく人と情報が行き交います。指揮所から救護所への情報伝達、消防等との連絡調整、救護所での傷病者の搬入・搬出など、混乱する災害現場のイメージをつかむことができました。



〈岡山県の災害拠点病院〉

基幹災害医療センター	岡山赤十字病院	地域災害医療センター	岡山済生会総合病院	県南東部医療圏
			岡山医療センター	//
			岡山大学病院	//
			川崎医科大学附属病院	県南西部医療圏
			倉敷中央病院	//
			高梁中央病院	高梁・阿新医療圏
			津山中央病院	津山・英田医療圏
			落合病院	真庭医療圏

TOPICS 1

起こるかもしれない大災害に備えて



昨年11月3日(土)〜4日(日)にかけて、中国5県のDMAT、防災関係機関の実働訓練が行われました。DMATは、「ディーマット」(Disaster Medical Assistance Team)の略で、厚生労働省より認定を受けた医師、看護師、業務調整員からなる5人1組の医療チームです。災害現場にいち早く出動し、超急性期の医療を行います。訓練の想定は岡山県南部を震源とする直下型地震。当院のDMATは、倉敷市の河川敷から傷病者をヘリコプターに乗せ、岡山空港まで搬送しました。その後、空港内に設置されたSCUという拠点で、県外への広域搬送を行うためのトリアージ(優先順位の判定)などの訓練を行いました。参加者は、岡山県庁、岡山赤十字病院、岡山済生会総合病院、川崎医科大学附属病院、岡山空港に分かれて訓練を行いました。

TOPICS 2

病院火災を予防せよ

当院は、毎年11月に地域の消防団の皆様と合同で、夜間に防火訓練を行っています。初期消火、通報、避難誘導、患者・傷病者の搬送、放水といった病院火災における総合的な対処についての訓練を続けてきました。昨年11月20日(火)は、療養病棟からの出火という想定で訓練でした。訓練後には、真庭市消防署の川崎さん、真庭消防設備の大田さんより講習をいただき、「避難完了まで18分。以前より時間がかかっている」「緊張感が足りない」といった厳しいご意見や、「消火ホースの留め金を外さない」といった具体的なご指摘を数多くいただきました。夜間の訓練で、入院患者様や地域の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、万一来臨し、訓練を続けて行きたいと思えます。ご協力ありがとうございました。



TOPICS 3

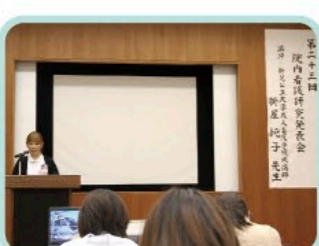
楽しい健康教室に参加しませんか?



落合病院では、「1日たるみ健康教室」と銘打って、盛り沢山の内容でお楽しみいただける健康教室を、毎年11月に開催しています。「たるみとは体のたるみのことか?」とよくご質問を受けますが、当地「垂水」の意味です。昨年は、11月23日(金)勤労感謝の日に開催しました。午前中は「糖の流れ」「薬」「栄養」「支払い」について医師や各専門職員が詳しくご説明し、動脈硬化の無料計測や、手作りポスターの展示をご覧いただきました。お昼は、栄養士が作った低カロリー料理を囲んでの懇談会。午後は、「この運動はどの筋肉に効く?」など、理学療法士と一緒に体を動かしました。最後に、お一人ずつメッセージ入りの修了証をお渡ししてお別れしました。1日たるみ健康教室はどなたでも参加できます。生活習慣病、糖尿病などが気になる方は、お気軽にスタッフにお尋ねください。

TOPICS 4

2年間の研究成果を発表!



第23回目となる院内看護研究発表会が、昨年11月15日(木)当院記念ホールで開催されました。発表者は、所属部署で研究チームをつくり、2年かけて研究してきた成果を発表する日です。今回は、「当院のエンゼルケアの実態」「慢性腎臓病患者に対する外来指導を取り組むための体制づくり」「高齢の透析患者へのフットケアの取組み」の3席の発表があり、当院の特徴を生かした内容となりました。看護研究は、新人もベテランも関係なく取り組めます。得られた成果や知識は、看護の質を高めることにつながっていくはず。また今回は、助言者に新見公立大学看護学部 掛谷純子先生をお迎えし、研究発表のまとめ方を中心にご助言いただきました。

TOPICS 5

惨敗に終わった悪夢の日



岡山県病院協会の主催による第51回真庭支部病院職員バレーボール大会が、昨年11月25日(日)に開催されました。市内の5病院からそれぞれ1チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。ただ、落合病院チームは近年、徐々に成績が落ち込んでいます。この日もチームワークが突如乱れ、1勝4敗という不本意な成績に終わってしまいました。しかし、大会の目的は「病院職員の健康増進をはかるとともに、職場の空気を明るくし、病院間の親睦を図ること」であり、その後の打ち上げは何故かチームワークがよく、親睦をよりいっそう深めることが出来たようです。医療職に携わってみたいとお考えの方、落合病院に就職してバレーボールをやってみませんか?

TOPICS 6

運も実力のうち? 市大会で準優勝!



昨年11月4日(日)勝山運動公園にて真庭市軟式野球選手権大会が開催されました。各地区のリーグ戦を制した代表チーム同士のハイレベルな大会で、落合地区の代表は、当院を含む医療法人社団井口念の野球部です。第1試合は北房代表チームとの対戦。延長でも決着がつかず、「じゃんけん」勝負にまでもつれましたが、勝ってしまうという悪運の強さを発揮しました。残念ながら、決勝戦では湯原代表チームに負けてしまいました。試合が放送されるという名誉な結果を残してくれました。ごことなく頼りないチームですが、今シーズンはそろそろ優勝できそうな予感がしています。